

新型コロナウイルス感染症に対する当社の取り組み

お客様・社員の安全確保を最優先に、徹底した感染防止に取り組んでいます。

2020年4月7日から49日間にわたって発令されていた新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が5月25日、全国で解除されました。当社の主要顧客である建設業界では各団体がまとめたガイドラインなどを参考に、工事・業務における感染防止策が講じられ、当社でもお客様並びに社員の安全確保を最優先に、徹底した感染防止に取り組んでいます。今後も状況の変化に対応しながら感染防止に努めてまいります。

主な取り組み

- 集合会議開催に当たっては、規模の縮小や延期、テレビ会議システムの活用を推奨
- レンタカー・重機等レンタル機器の返却・貸出に際し、通常の清掃作業に加えてアルコールや次亜塩素酸ナトリウム等によるハンドル・ドアノブ・シフトレバー等手指が触れる箇所の消毒を励行
- 万が一、当社役職員に新型コロナウイルス感染が発生した場合には、速やかに濃厚接触者の確認による適切な対応や必要に応じた営業所の休止・消毒等と共に、当社ホームページへ開示
- 各部署でグループ分けを行い、社員の半数程度を交代で自宅待機・在宅勤務（緊急事態宣言時、対象地域）
- 出勤する社員には、時差出勤を推奨
- 出張・接待・社内飲食等を原則禁止し、長時間の商談や面会も極力回避



アルコールなどによる消毒を徹底しているレンタル機器

サンクスフェア2020に関するお知らせ

当社グループは、サンクスフェア2020の開催に向けて準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や、政府および地方自治体等からの注意喚起を踏まえ、お客様・関係者の安全面を第一に考慮した結果、「カナモトサンクスフェア in 江別、in 旭川」、「第一機械産業サンクスフェア in 鹿児島」以外はすべて中止することといたしました。

ご来場を予定されていたお客様にはご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、江別、旭川、鹿児島で開催時期等につきましては、決まり次第当社ホームページにてご案内いたします。



<https://www.kanamoto.co.jp>

第56期第2四半期決算の概況 [2019年11月1日～2020年4月30日]

● 連結経営成績（累計）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益 (百万円)	1株当たり 四半期（当期）純利益 (円)
第56期第2四半期	91,414 (△0.5)	9,239 (△18.0)	9,046 (△21.4)	5,344 (△26.3)	138.33
第55期第2四半期	91,856 (7.6)	11,266 (2.5)	11,511 (3.2)	7,255 (7.7)	187.62

● 連結業績予想（累計）

第56期通期	182,700 (1.1)	16,100 (△9.8)	16,400 (△10.3)	9,900 (△13.4)	256.26
--------	---------------	---------------	----------------	---------------	--------

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率 (%) を示しております。

[経営環境]

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が弱含みで推移しつつも、堅調な企業収益を背景に雇用や所得環境の改善が続くなど景気は緩やかな回復基調にありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、経済活動の低迷や株式市場の混乱もみられる等、極めて厳しい状況となりました。

当社グループが関連する建設業界におきましては、深刻化する自然災害への防災減災関連工事や社会資本の老朽化に対応する維持・更新等を中心に公共投資は底堅く推移し、民間建設投資も首都圏の再開発工事などを中心に明るさも見られ、事業環境は比較的堅調に推移いたしました。一方、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、一部工事の休止や延期の動きがあるなど、影響が発生しはじめました。

このような状況のなか、当社グループは、新中期経営計画（2020～2024年度）「Creative 60」の実現に向け、国内営業基盤の拡充、海外展開、内部オペレーションの最適化の3つの重点施策を進める一方で、これまでの成長軌道を維持しつつ市場環境に応じた選択と集中を図り、将来の業界再編や多発する自然災害への対応力強化にも努めております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は914億14百万円（前年同期比0.5%減）となりました。利益面につきましては、将来を担う人財投資やレンタルビジネスの収益性向上に向け中古建機販売を抑制していることなどから、営業利益は92億39百万円（同18.0%減）、経常利益

は90億46百万円（同21.4%減）、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は53億44百万円（同26.3%減）となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

主力事業である建設関連におきましては、インフラ関連工事や防災減災関連工事、エネルギー関連工事や再開発工事などもあり、全体として建設機械のレンタル需要は底堅く推移いたしました。しかしながら、一部の工事現場では、新型コロナウイルス感染症により休止や延期の動きが見られるなど、影響を受ける結果となりました。

また、自然災害の復旧・復興活動などに対する支援体制強化を進めると共に、将来の地域毎の需要変化に即応可能な商品ラインナップの充実とレンタル用資産の適正配置により一層注力し、対応力の強化を図っております。

中古建機販売につきましては、売上高は前年同期比13.7%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は830億62百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は85億94百万円（同18.5%減）となりました。

その他

その他の事業につきましては、福祉関連は堅調に推移いたしました。鉄鋼関連、情報通信関連は前期の反動や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、売上高は83億51百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は4億28百万円（同15.3%減）となりました。

■ 連結財務諸表

四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）

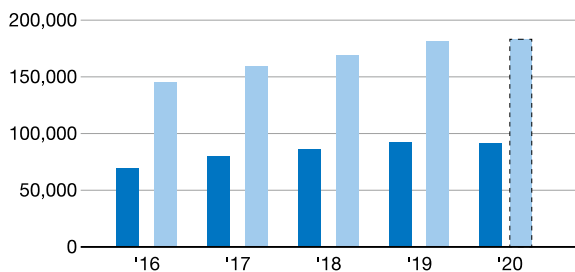
(単位:百万円)	第55期第2四半期 (2018.11.1~2019.4.30)	第56期第2四半期 (2019.11.1~2020.4.30)
① 売上高	91,856	91,414
売上原価	63,350	64,075
売上総利益	28,505	27,338
販売費及び一般管理費	17,239	18,098
② 営業利益	11,266	9,239
営業外収益	441	409
営業外費用	195	602
③ 経常利益	11,511	9,046
特別利益	61	16
特別損失	70	308
税金等調整前四半期純利益	11,501	8,754
法人税、住民税及び事業税	3,819	2,919
法人税等調整額	△ 162	△ 84
四半期純利益	7,844	5,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	588	574
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	7,255	5,344

四半期連結包括利益計算書（第2四半期連結累計期間）

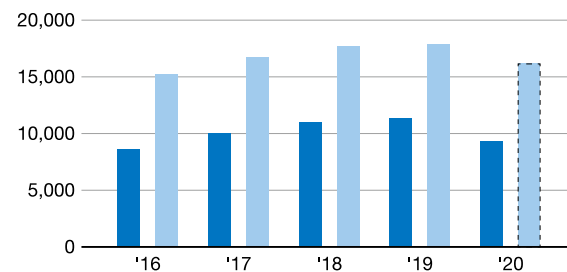
(単位:百万円)	第55期第2四半期 (2018.11.1~2019.4.30)	第56期第2四半期 (2019.11.1~2020.4.30)
四半期純利益	7,844	5,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 250	△ 589
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 0
為替換算調整勘定	△ 33	27
退職給付に係る調整額	△ 0	△ 29
その他の包括利益合計	△ 284	△ 590
四半期包括利益	7,560	5,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,972	4,764
非支配株主に係る四半期包括利益	587	562

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

① 売上高



② 営業利益



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第55期 (2019.10.31)	第56期第2四半期 (2020.4.30)
(資産の部)		
流動資産	111,393	112,589
固定資産	156,789	164,445
有形固定資産	141,084	149,502
無形固定資産	1,680	1,608
投資その他の資産	14,024	13,334
資産合計	268,182	277,035
(負債の部)		
流動負債	78,519	78,875
固定負債	67,883	73,609
負債合計	146,403	152,485
(純資産の部)		
株主資本	113,783	116,591
資本金	17,829	17,829
資本剰余金	19,324	19,324
利益剰余金	76,638	80,433
自己株式	△ 9	△ 996
その他の包括利益累計額	1,723	1,144
その他有価証券評価差額金	1,918	1,334
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	△ 192	△ 164
退職給付に係る調整累計額	△ 2	△ 25
非支配株主持分	6,272	6,814
純資産合計	121,779	124,549
負債純資産合計	268,182	277,035

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第55期第2四半期 (2018.11.1~2019.4.30)	第56期第2四半期 (2019.11.1~2020.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,528	21,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,649	△ 1,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,038	△ 16,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,840	2,847
現金及び現金同等物の期首残高	36,733	43,511
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	390	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,963	46,358

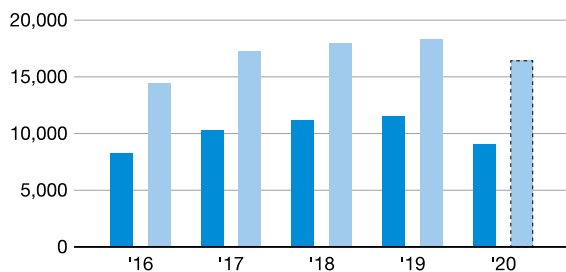
とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で100名様に当社のオリジナルノベルティグッズをお贈りします。今号のプレゼントは、カナモト坊やのスポーツタオルです。ほどよいボリューム感で吸水性もよく、使い勝手の良いサイズなのでスポーツやお風呂などさまざまな用途でお使いいただけます。



ご応募の締め切りは2020年8月7日(金) 当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

③ 経常利益



④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

